



海水浴や水遊びが楽しいこの季節、皆さんに気をつけていただきたいのが、水の事故です。

○ 水の事故の発生状況

昨年の7～8月、全国で535人の方が水の事故に遭い、うち235人の方が亡くなられています。

場所別に見ると、海で事故に遭った方が最も多く（288人）、次いで河川（187人）となっています。

行為別に見ると、水遊び中に事故に遭った方が最も多く（137人）、次いで魚とり・釣り（96人）となっています。

（警察庁ウェブサイト『令和7年夏期における水難の概況』より）



○ 水の事故に遭わないために！

- ・ 遊泳禁止区域では泳がない。
- ・ 子供たちだけで水遊びをしない。させない。
- ・ 天気が悪いとき、波が高いとき、河川の増水のおそれがあるときは、水辺に近づかない。
- ・ 水辺に行く際は、大人も子供もライフジャケットを着用する。
- ・ 水深の深いところ、流れの急なところには行かない。
- ・ 自分の泳ぎを過信しない。
- ・ 体調が悪いときや飲酒しているときは、水に入らない。
- ・ 水辺を通る際は、転落に注意する。

佐賀県内でも毎年この時期、水の事故が発生しています。水に入る場合のみならず、水辺に近づく際も、十分な注意をお願いいたします。